

## パワープレイ (1978)

POWER PLAY

OPERATION OVERTHROW [V]

メディア 映画

ジャンル アクション サスペンス

製作国 イギリス/カナダ

色彩 Color

時間 103分

初公開日 1979/11/17

公開情報 ワールド

## 【解説】

ヨーロッパの仮想小国で巻き起こったクーデターをリアルに描き、権謀術策の醍醐味を存分に味合わせてくれた知られざる傑作。大臣誘拐事件を機に、テロリスト一掃命令を下す大統領。だが、怪しき者は逮捕せよ、という秘密警察長官（プレザンス）の方針は、次々と無関係の犠牲者を出していた。知人の娘を殺された陸軍大佐（ヘミングス）は、戦術に長けた教授（モース）や同志と共にクーデターを計画、始めは拒んでいた戦車隊長（オトゥール）も加わり、遂に決行の日がやって来た……。

前半、水面下で繰り広げられる秘密警察とクーデター派の諜報戦はサスペンスに満ち、戦車隊が街中に進撃してくる後半からはスベクタクルに溢れ、全編通じての権力争いの駆け引きは知的興奮を呼び覚ます。そして、それらをあくまでもリアリティにこだわって、セミ・ドキュメンタリー・タッチで淡々と見せる新鋭M・バークの演出力。カナダ軍の全面協力によって実現した都市制圧の図など鳥肌も立ちかねない凄さだ。仮に“クーデター映画”というジャンルがあるならば、間違いなく最高峰に位置する完成度である。

## 【クレジット】

|       |                |                     |
|-------|----------------|---------------------|
| 監督    | マーティン・バーク      | Martyn Burke        |
| 製作    | クリストファー・ダルトン   | Christopher Dalton  |
|       | デヴィッド・ヘミングス    | David Hemmings      |
| 製作総指揮 | ロバート・M・クーパー    | Robert M. Cooper    |
| 原作    | エドワード・N・ルトワク   |                     |
| 脚本    | マーティン・バーク      | Martyn Burke        |
| 撮影    | オウサマ・ラーウィ      | Ousama Rawi         |
| 音楽    | ケン・ソーン         | Ken Thorne          |
| 出演    | ピーター・オトゥール     | Peter O'Toole       |
|       | デヴィッド・ヘミングス    | David Hemmings      |
|       | バリー・モース        | Barry Morse         |
|       | ドナルド・プレザンス     | Donald Pleasence    |
|       | ジョン・グラニック      |                     |
|       | チャック・シャマタ      | Chuck Shamata       |
|       | アルバータ・ワトソン     | Alberta Watson      |
|       | マーセラ・セイント・アメント |                     |
|       | オーガスト・シェレンバーグ  | August Schellenberg |
|       | ハーヴェイ・アトキン     | Harvey Atkin        |